

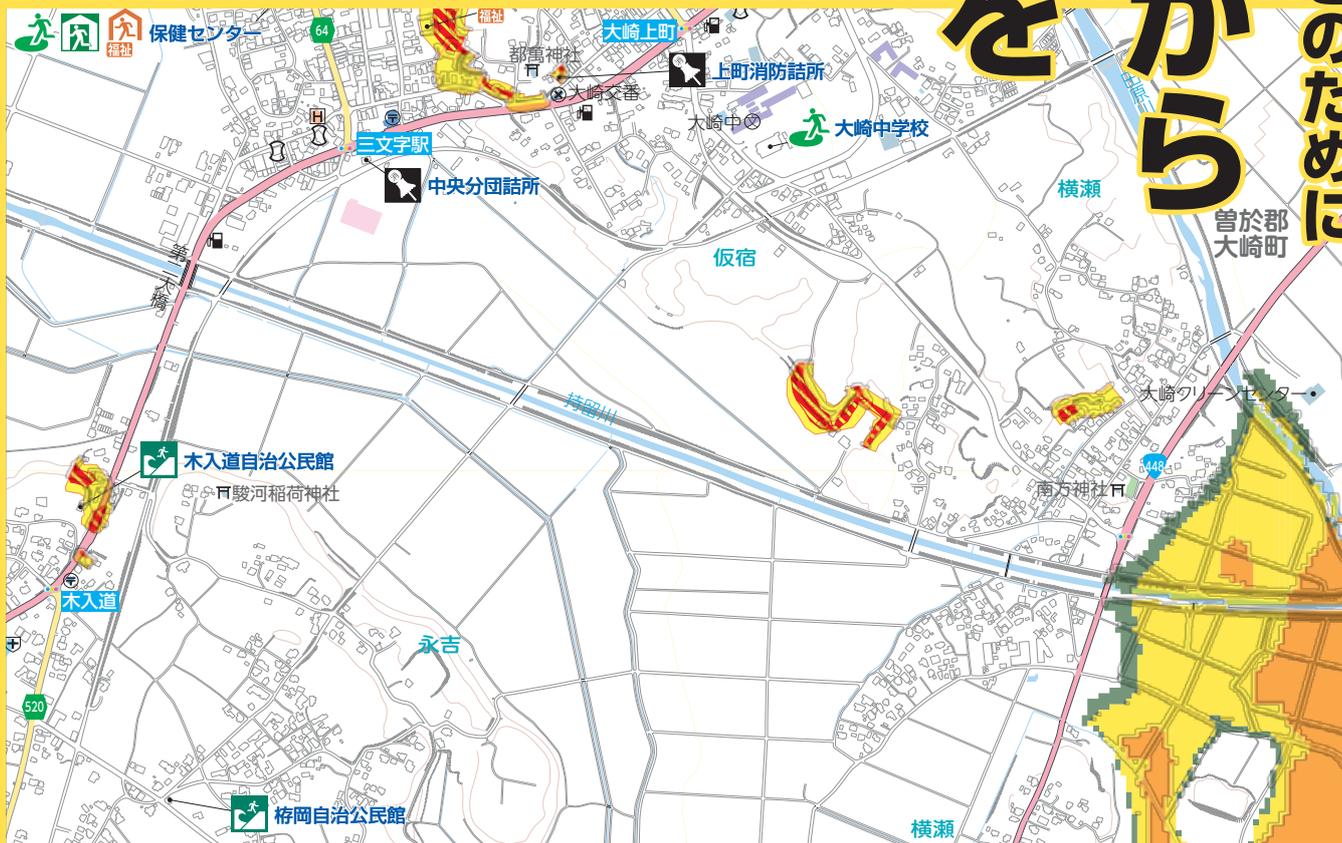
日頃から 備えを

くらしとくらしのときのために

近年、豪雨や暴風、地震などにより日本各地で大きな被害が発生しています。令和2年には本町でも、集中豪雨により床上浸水や土砂崩れ、橋の崩落など甚大な被害を受けました。

災害に対する緊張の高まりを受け、今回、土砂災害(特別)警戒区域および津波浸水想定区域の他に、防災に関する情報を盛り込んだ「総合防災マップ」を作成し、集落の文書発送や個別の発送を通して3月に各家庭に配布しました。

今回の特集では、総合防災マップに記載されている内容や使い方をご説明します。雨や台風が多くなる時期を前に防災時の対応などについて改めて確認し、備えましょう。



【津波浸水想定区域】

	20m以上
	10m以上～20m未満
	5m以上～10m未満
	3m以上～5m未満
	2m以上～3m未満
	1m以上～2m未満
	0.3m以上～1m未満
	0.01m以上～0.3m未満

鹿児島県のシミュレーションにおける最大クラスの津波が発生した場合に、想定される浸水域と浸水深を表したものです。局所的な地面の凹凸や建築物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生する場合があります。

【土砂災害警戒区域】

	【土石流警戒区域】 土石流が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域		【土石流特別警戒区域】 土石流が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域
	【急傾斜地警戒区域】 急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域		【急傾斜地特別警戒区域】 急傾斜地の崩壊が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

【土砂災害警戒区域】とは、土砂災害のおそれがある区域で、【土砂災害特別警戒区域】とは、土砂災害警戒区域の中でも建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のことです。

凡例		指定緊急避難場所		指定避難所		福祉避難所
		津波避難場所		ドクターヘリ離着陸場所		消防団詰所

